

# Economic Indicators

発表日: 2024年3月22日(金)

## 主要経済指標予定(2024年3月25日~3月29日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部  
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(3月25日~3月29日の主なイベント、指標予定)

|                | 指標名                                  | 当社予測        | 市場予測  | 市場予測レンジ     | 前回結果        |       |
|----------------|--------------------------------------|-------------|-------|-------------|-------------|-------|
| 3月25日 (月)      | 8:50 金融政策決定会合議事要旨<br>(1月22・23日分)     |             |       |             |             |       |
|                | 14:00 1月景気動向指数改訂値                    |             |       |             |             |       |
|                | CI先行指数(前月差)                          | —           | —     | —           | ▲0.6pt      |       |
|                | CI一致指数(前月差)                          | —           | —     | —           | ▲5.8pt      |       |
|                | 14:00 2月チェーンストア販売統計                  |             |       |             |             |       |
|                | 店舗調整後販売額(前年比)                        | —           | —     | —           | +1.9%       |       |
|                | 14:30 2月全国百貨店売上高                     |             |       |             |             |       |
|                | 店舗数調整後(前年比)                          | —           | —     | —           | +7.1%       |       |
| 3月26日 (火)      | 8:50 2月企業向けサービス価格指数<br>(前年比)         | +2.0%       | —     | —           | +2.1%       |       |
| 3月27日 (水)      |                                      |             |       |             |             |       |
| 3月28日 (木)      | 8:50 日銀金融政策決定会合「主な意見」<br>(3月18・19日分) |             |       |             |             |       |
| 3月29日 (金)      | 8:30 3月消費者物価指数(都区部)                  |             |       |             |             |       |
|                |                                      | 東京総合(前年比)   | +2.4% | +2.5%       | +2.3%~+2.7% | +2.6% |
|                |                                      | 東京コア(前年比)   | +2.4% | +2.4%       | +2.3%~+2.5% | +2.5% |
|                | 8:30 2月労働力調査 完全失業率                   | 2.4%        | 2.4%  | 2.4%~2.5%   | 2.4%        |       |
|                | 8:30 2月一般職業紹介状況 有効求人倍率               | 1.27倍       | 1.27倍 | 1.26倍~1.28倍 | 1.27倍       |       |
|                | 8:30 1月サービス産業動向調査                    |             |       |             |             |       |
|                |                                      | 売上高(前年比)    | —     | —           | —           | +3.0% |
|                | 8:50 2月商業動態統計・速報                     |             |       |             |             |       |
|                |                                      | 小売業販売額(前年比) | +2.9% | —           | —           | +2.1% |
|                | 8:50 2月鉱工業指数・速報                      |             |       |             |             |       |
|                |                                      | 生産(前月比)     | +1.5% | +1.3%       | ▲2.0%~+3.0% | ▲7.5% |
|                |                                      | (前年比)       | ▲1.9% | —           | —           | ▲1.5% |
| 14:00 2月住宅着工統計 |                                      |             |       |             |             |       |
|                | 新設住宅着工戸数(前年比)                        | ▲5.2%       | ▲5.2% | ▲6.8%~▲3.4% | ▲7.5%       |       |
|                | (季調値年率)                              | 81.5万戸      | —     | —           | 80.2万戸      |       |

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



**3月都区部消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比+2.4% 中央値：同+2.4%**

CPI コアは前年比+2.4%と、前月から上昇率が鈍化すると予想する。電気・ガス代のマイナス寄与が縮小することが押し上げ要因になる一方、昨年の伸びが高かったことの裏が出ることで食料品の上昇率が鈍化する見込み。また、エネルギーや食料を除いたコアコア部分でも緩やかな鈍化が続くとみられる。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

**2月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：2.4%/1.27倍 中央値：2.4%/1.27倍**

インバウンド需要の拡大等を背景に、サービス業を中心として人手不足感が強まっている。2月も失業率は低水準での推移を予想する。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

**2月小売業販売額 当社予想：前年比+2.9%**

小売業販売額は前年比+2.9%と前月から上昇率が拡大すると予想するが、これは今年2月がうるう年であることにより押し上げられている面が大きい。前月比では横ばい程度にとどまる見込みであり、基調としては弱い動きが続いていると判断される。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

**2月鉱工業生産指数 当社予想：前月比+1.5% 中央値：同+1.3%**

2月の鉱工業生産を前月比+1.5%と予想する。2月は自動車メーカーの一部工場稼働再開により輸送機械工業を中心に持ち直しに向かうものの、1月の落ち込みを取り戻すには至らないだろう。先行きも自動車生産能力の正常化には時間がかかることに加えて、海外経済の減速により財輸出は回復感の欠ける動きが続くことから、1-3月期は減産の可能性が高い。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

